

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2024年12月18日
第51号

小樽市弓道大会 齋藤・大倉・山村チーム準優勝 女子個人戦 花立3位

第2回小樽市内高校・大学・一般交流弓道大会が12月14日(土)に小樽公園弓道場で行われました。これまで我々が参加する大会は高校生同士のものでしたが、今回は大学生や一般の方を含めた大会で、一般の方の中には錬士6段の強者もいました。団体戦は20チームの参加で、本校からは3チームが参加しました。

団体20チームの中で準優勝

この中で本校Aチーム(齋藤優太(2の3)・大倉玄誠(2の3)・山村総司(1の3))が準優勝でした。相手は商大Aチームで延長の末、一矢差での惜敗でした。他に本校Bチーム(佐藤優羽(1の2))は予選7位で決勝トーナメントに進みましたが、準決勝で敗れました。男子個人戦は、齋藤(2の3)と大倉(2の3)が予選(2の3)を通過しましたが、上位入賞はかきませんでした。花立さん個人3位



山村総司(1-3) 大倉玄誠(2-3) 齋藤優太(2-3)

花立さん個人3位

女子個人戦は花立知世子(1の2)が3位で入賞しました。実力が高い選手たちの中で本校選手は健闘しましたが悔しさが残る大会でした。この悔しさを胸に今後も練習に励んでいきたいと思いきいます。応援をよろしくお願いします。(西川浩司先生)

真珠湾攻撃の日

「宣戦の大詔 渙発せらる」

小樽双葉高等女学校
学校日誌より

当事務所の1回目の記事をお読みになった倉内校長先生が「参考」と、月刊「会報双葉」(昭和17年1月10日発行)のバックナンバー(下写真)をコピーしてくださった。真珠湾攻撃を当時の先生方はどう受け止めていたのか。「学校日誌抄」から抜粋する。



双葉歴史探偵事務所

□2□

昭和16年の学校日誌抄より (12月8日~13日)

八 日(月)
宣戦の大詔渙発せらる。
午前六時、大本營發表の臨時ニュースは一億國民の耳を激しく打つた。『帝國陸海軍は今八日未明、西太平洋において米・英軍と戦闘状態に入れり。』
やつた!お、ついにわが陸海の精銳は立つた。
ついで、長くも米英に對し宣戦の大詔は渙發せられた。正午、AKのラヂオは誰か、大詔を全國民に放送、職員室にあつたわれらは全員起立、肅然としてこれを拜聴した。大詔に、
皇祖皇宗ノ神靈ニニアリ、朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ、祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ、速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ、以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス。



女子個人優勝決定戦(花立)



と仰せられる。寔に恐懼感激に堪へざる次第である。われらは心命を賭して、この大御言に應へ奉らねばならぬ。
この日、全校検査の第一日であつたことも、生徒にとつて忘れられない記念とならう。

九 日(火)

八日ハワイ真珠灣急襲をはじめ比島、香港、グアム、シンガポールその他の敵軍事基地爆撃の快報相つぎ、史上空前の大戦果をあげたるニュースに、昨夜は寝もやらずにラガオオへすがりつたものが多かつた。しかも、今朝の晴れやかな人々の面を見よ。
橋田文相は全國教職員、學生に對して訓令を發した。『教育ニ從專スルモノ、ソノ實務ノ極メテ重大ナルヲ能ヒ、思想ヲ純整ニシテ率先射行、師表タルノ實ヲ舉ゲテソノ任務ヲ盡スベク』とある。

十 日(水)

マレー沖において、英極東艦隊主力全滅の快報至る。開戦勢頭におけるハワイ方面の急襲によつて米國太平洋艦隊は殆ど潰滅せられ今また傳統を誇る英海軍主力はわが海の荒鷲によつて撃滅せらる。神靈上あり、日本の武人は人間の不可能事とするところを可能たらしむる神業を取つて。
學期末検査終了。製菓工場へは實科二年が作業に行つた。

十一 日(木)

海軍の偉功に對し、山本司令長官に勅語を賜ふ。(十日)
今次對米英戰爭は、支那事變をも含めて「大東亞戰爭」と呼稱することになつた。
製菓工場の作業、實科二年。

十二 日(金)

本日、海軍の偉功を御嘉尚、山本司令長官に對し、再度勅語を賜はる。
製菓工場行、三年二組。
修養講話、安部校長の佛教講演
第六回「修道について」

十三 日(土)

第一時、宣戰詔書奉讀式。
午後一時より小樽公園に開催の市民大會參加の爲全校出陣、烈々たる愛國の熱誠に燃ゆる決議と宣誓を終り、住吉神社に参拜、祈願の上、午後三時歸校、解散す。
香港封岸の九龍占領したわが軍は、附近を掃蕩しつゝあり。

大本營發表の臨時ニュース、宣戦の大詔、それをどう受け止めていたのかが伝わる。製菓工場には勤勞奉仕に行っていたのだろうか。